

2012年(平成24年)4月7日(土曜日)

# 電動シャッター 止まらぬ事故

## 14年間で10人死亡

学校やビル、ガレージなどに設置されている電動式のシャッターに体を挟まれて、一九九八年からの十四年間で計十人が死亡していたことが七日、共同通信のまとめで分かった。ほかに腕を切断されたり首などを挟まれたりして十四人が重軽傷を負っていた。

業界団体の日本シャッター協会(東京)によると、全国にと二〇〇五年以降、電動式シャッターは少なくなると約三百四十五万台あり、うち自動停止装置が付いていないのは七割の約二百四十万台に上る。

消費者庁は業界団体から事故状況の聞き取り調査を開始。近く設置が予定されている新設のシャッターには取り付けが義務付けられている。消費者安全調査委員会では日本の平均的な防火シャッターは幅三メートル、高さ二メートル程度で、重量は百八十キログラムにもなる。国交省によると、九八年にさいたま市の小学校で当時小学三年生の男児(八歳)が、火災も起きていないのに下りてきた防火シャッターに首を挟まれて死亡した。国民生活センターによると、自宅ガレージのシャッターがいついかなる軽傷事故や不具合による死亡事故も起きてきた。

最近の主なシャッター死亡事故

1998年4月	さいたま市(旧浦和市)	小学校で男児(8歳)が首を挟まれ死亡
2003年11月	横浜市	スーパーで会社員(51)が首を挟まれ死亡
04年2月	北海道苫小牧市	工場作業員(53)が下敷きとなり胸を打ち死亡
4月	大阪市	工場従業員(56)が首を挟まれ死亡
06年3月	京都市	JR京都駅で男性(69)が腹を挟まれ死亡
08年8月	東京都立川市	書店で会社員(51)が肩と背中を挟まれ死亡
09年4月	愛知県刈谷市	自宅ガレージで女性(66)が腹部を挟まれ死亡
10年10月	北海道釧路市	会社車庫で従業員(55)が挟まれ死亡
12年1月	岐阜県多治見市	車庫で男性(52)が挟まれ死亡
3月	名古屋市	居酒屋入り口で女性(62)が首を挟まれ死亡

六年にはJR京都駅きなり下りてきて車が通路でホームレスとみられる男性(六十)が腹を挟まれて死亡。今年三月に上下するなどの「危険情報」も一年度以降で十九件あった。協会によると、既製品ではなく鉄板などで自作したシャッターによる死亡事故も起きてきた。軽傷事故や不具合による死亡事故も起きてきた。国民生活センターによると、自宅ガレージのシャッターがいついかなる軽傷事故や不具合による死亡事故も起きてきた。

## 7割240万台 自動停止装置なし

共同通信は日本シャッター・ドア協会、国交省、消費者庁、国民生活センター、経済産業省所管の製品評価技術基盤機構に取材した。消費者庁が調査を向殿(むかいどの)政男、明治大学教授(安全学)の話、すべてのシャッターに自動停止装置を取り付けることを義務付けるべきだ。また業者には行政指導をして、エレベーターのように定期的な検査をさせなければ、再び事故が起きる恐れがある。シャッターの監督官庁は国土交通省と経済産業省に分かれており、いずれも被害の全体像の把握や検証ができていない。消費者庁が積極的に調査すべきだ。

# シャッターで10人死亡

## 7割に停止装置なし

全国、98年以降

学校やビル、ガレージなどに設置されている電動式のシャッターに体を挟まれて、1998年からの14年間で計10人が死亡していたことが7日、共同通信のまとめで分かった。ほかに腕を切断されたり首などを挟まれたりして14人が重軽傷を負っていた。

業界団体の日本シャッター・ドア協会(東京)によると、全国に電動式シャッターは少なくとも約345万台あり、うち自動停止装置が付いていないのは7割の約240万台に上る。消費者庁は業界団体から

事故状況の聞き取り調査を開始。近く設置が予定されている新たな事故調査機関、消費者安全調査委員会で取り上げるかどうか検討している。

国土交通省によると、2005年以降、学校や建物の「防火シャッター」には、人に接触した瞬間に5秒以内で停止する自動停止装置の取り付けが義務付けられ

最近の主なシャッター死亡事故

1998年4月	さいたま市(旧浦和市)	小学校で男児(8歳)が首を挟まれ死亡
2003年11月	横浜市	スーパーで会社員(51)が首を挟まれ死亡
04年2月	北海道苫小牧市	工場で作業員(53)が下敷きとなり胸を打ち死亡
4月	大阪市	工場で従業員(56)が首を挟まれ死亡
06年3月	京都市	JR京都駅で男性(69)が腹を挟まれ死亡
08年8月	東京都立川市	書店で会社員(51)が肩と背中を挟まれ死亡
09年4月	愛知県刈谷市	自宅ガレージで女性(66)が腹部を挟まれ死亡
10年10月	北海道釧路市	会社車庫で従業員(55)が挟まれ死亡
12年1月	岐阜県多治見市	車庫で男性(52)が挟まれ死亡
3月	名古屋市	居酒屋入り口で女性(62)が首を挟まれ死亡

た。しかし、それ以前に設置されたシャッターや、自宅などにある「防犯シャッター」には取り付けが義務付けられていない。日本の平均的な防火シャッターは幅3尺、高さ2・4尺程度で、重さは180キにもなる。

国交省によると、98年にさいたま市の小学校で当時小学3年生の男児(8)が、火災も起きていないのに下りてきた防火シャッターに首を挟まれて死亡。横浜市では03年、スーパーで会社員が首を挟まれ、また、06年にはJR京都駅通路上でホームレスとみられる男性(69)が腹を挟まれて死亡。

今年3月には、名古屋市のビルにある飲食店で女性(62)が首を挟まれて死亡した。3台とも自動停止装置は付いていなかった。

国民生活センターなどによると、自宅ガレージのシャッターがいきなり下りてきて車がつぶれた例や、ガレージのシャッターが勝手に上下するなどの「危害情報」も01年度以降で19件あった。協会によると、既製品ではなく鉄板などで自作したシャッターによる死亡事故も起きている。軽傷事故や不具合情報の概要や件数については「精査されておらず、公表できる段階がない」と説明している。

共同通信は日本シャッター・ドア協会、国交省、消費者庁、国民生活センター、経済産業省所管の製品評価技術基盤機構に取材した。

# シャッターで死亡10人

## 98年以降 消費者庁が調査開始

電動式の7割 停止装置なし

学校やビル、ガレージなどに設置されている電動式のシャッターに体を挟まれて、1998年からの14年間で計10人が死亡していたことが7日、共同通信のまとめで分かった。ほかに腕を切断されたり首などを挟まれたりして14人が重軽傷を負っていた。

消費者庁は業界団体から事故状況の聞き取り調査を開始。近く設置が予定されている新たな事故調査機関、消費者安全調査委員会で取り上げるかどうか検討している。

日本の平均的な防火シャッターは幅3.5メートル、高さ2.4メートル程度で、重さは180キログラムにもなる。

共同通信は日本シャッター・ドア協会、国交省、消費者庁、国民生活センター、経済産業省所管の製品評価技術基盤機構に取材した。

業界団体の日本シャッター・ドア協会(東京)によると、全国に電動式シャッターは少なくとも約34万人に接触した瞬間に5人に死亡した例がある。

名古屋市の名東区の女性(62)は3月22日朝、夫(61)と切り盛りする小料理店のシャッターに首を挟まれた。シャッターは幅5.7メートル、高さ2.5メートルの金属製。

名東区にあるボタンを押すだけで電動で40秒ほどかかって上下する。障害物に当たった際に自動停止する装置はなかった。開店した1977年当時、既に設置されたシャッターをくぐらうとして転んだ。

死者は、既に設置されたシャッターをくぐらうとして転んだ。

「先に帰っていて」と言われた。

### 安全装置さえあれば…妻の無念

現場は雑居ビルの1階。愛知県警によると、うつぶせでシャッターの下から頭だけが店外に出た状態だった。死因は首を圧迫された。

妻は「安全装置さえあれば…」と無念に思う。

「2人で開いた店だった。古いシャッターに義務がないことは分かるけど、安全装置があれば助かった」。

「2人で開いた店だった。古いシャッターに義務がないことは分かるけど、安全装置があれば助かった」。

最近の主なシャッター死亡事故

1998年4月	さいたま市(旧浦和市)	小学校で男児児童(8歳)が首を挟まれ死亡
2003年11月	横浜市	スーパーで会社員(51)が首を挟まれ死亡
04年2月	北海道小樽市	工場で作業員(53)が下敷きとなり胸を打ち死亡
4月	大阪市	工場で従業員(56)が首を挟まれ死亡
06年3月	京都市	JR京都駅で男性(69)が腹を挟まれ死亡
08年8月	東京都立川市	書店で会社員(51)が肩と背中を挟まれ死亡
09年4月	愛知県刈谷市	自宅ガレージで女性(66)が腹部を挟まれ死亡
10年10月	北海道釧路市	会社車で従業員(55)が挟まれ死亡
12年1月	岐阜県多治見市	車庫で男性(52)が挟まれ死亡
3月	名古屋市中区	居酒屋入り口で女性(62)が首を挟まれ死亡

「2人で開いた店だった。古いシャッターに義務がないことは分かるけど、安全装置があれば助かった」。

### シャッター事故

# 14年間に10人死亡

## 自動停止7割なし さいたままで児童犠牲

学校やビル、ガレージなどに設置されている電動式のシャッターに体を挟まれて、1998年からの14年間で計10人が死亡していたことが7日、共同通信のまとめで分かった。ほかに腕を切断されたり首などを挟まれたりして14人が重軽傷を負っていた。

業界団体の日本シャッターに上る。

・ドア協会(東京)によると、全国に電動式シャッターは少なくとも約345万台あり、うち自動停止装置が付いているのは7割の約240万台

るかどうか検討している。

国土交通省によると、2005年以降、学校や建物の「防火シャッター」には、人に接触した瞬間に5秒以内で停止する自動停止装置の取り付けが義務付けられた。しかし、それ以前に設置されたシャッターや、自宅などにある「防犯シャッター」には取り付けが義務付けられていない。日本の平均的な防火シャッ

ターは幅3センチ、高さ2・4センチ程度で、重さは180キロにもなる。

国交省によると、98年にさいたま市の小学校で当時小学3年生の男児(8)が、火災も起きていないのに下りてきた防火シャッターに首を挟まれて死亡。06年にはJR京都駅通路でホームレスとみられる男性(69)が腹を挟まれて死亡。今年3月には、名古屋市のビルにある飲食店で女性(62)が首を挟まれて死亡した。3台とも自動停止装置は付いていなかった。

国民生活センターなどによると、自宅ガレージのシャッターがいきなり下りてきて車がつぶれた例や、ガレージの

シャッターが勝手に上下するなどの「危害情報」も01年度以降で19件あった。

協会によると、既製品ではなく鉄板などで自作したシャッターによる死亡事故も起きている。軽傷事故や不具合情報概要や件数については

「精査されておらず、公表できる段階にない」と説明している。

共同通信は日本シャッター・ドア協会、国交省、消費者庁、国民生活センター、経済産業省所管の製品評価技術基盤機構に取材した。

# 電動式シャッター事故

## 98年以降、死者10人

### 消費者庁 業界団体から調査開始

学校やビル、ガレージなどに設置されている電動式のシャッターに体を挟まれて、1998年からの14年間で計10人が死亡していたことが7日、共同通信のまとめで分かった。ほかに腕を切断されたり首などを挟まれたりして14人が重軽傷を負っていた。

業界団体の日本シャッター・ドア協会(東京)によると、全国に電動式シャッターは少なくとも約345万台あり、うち自動停止装置が付いていないのは7割の約240万台に上る。

消費者庁は業界団体から事故状況の聞き取り調査を開始。近く設置の取り付けが義務付けられ、2005年以降、学校や建物の「防火シャッター」には、人に接触した瞬間に5秒以内で停止する自動停止装置の取り付けが義務付けられている。

国土交通省によると、日本の平均的な防火シャッターは幅3メートル、高さは180センチにもなる。シャッターには、人に接触した瞬間に5秒以内で停止する自動停止装置は付いていない。

国民生活センターによると、自宅ガレージのシャッターがいきなり下りてきて車がつぶれた例や、ガレージのシャッターが勝手

年にさいたま市の小学校で当時小学3年生の男児(8)が、火災も起きていないのに下りてきた防火シャッターに首を挟まれて死亡。06年にはJR京都駅通路でホームレスとみられる男性(69)が腹を挟まれて死亡。今年3月には、名古屋市のある飲食店で女性(62)が首を挟まれて死亡した。3台とも自動停止装置は付いていなかった。

国民生活センターによると、シャッターは幅3メートル、高さは180センチにもなる。シャッターには、人に接触した瞬間に5秒以内で停止する自動停止装置の取り付けが義務付けられている。

共同通信は日本シャッター・ドア協会、国土交通省、消費者庁、国民生活センター、経済産業省所管の製品評価技術基盤機構に取材した。

上下するなどの「危険情報」も01年度以降で19件あった。

協会によると、既製品ではなく鉄板などで自作したシャッターによる死亡事故も起きています。軽傷事故や不具合情報の概要や件数については「精査されています」。

おらず、公表できる段階にない」と説明している。